



電子速報版

2009年5月1日(金)発行

発行所

山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12

電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2009
Yamagata Shimbun

やまがたニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

モバイルやましん

<http://yamagata-np.jp/k/>



購読申し込み(9~17時)

0120-81-8040

詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

新型インフル感染否定

疑いの男子高生はソ連型

厚労省が検査結果発表

新型インフルエンザ感染が疑われていた横浜市の高校二年の男子生徒(17)について厚生労働省は一日、感染は否定されたとの遺伝子検査の結果を発表した。男子生徒が感染していたのはAソ連型インフルエンザだったという。

国立感染症研究所が、四月三十日に検査を行った横浜市の地方衛生研究所から提出を受けた検体や、新たに男子生徒のどこから採取した検体を詳しく調べていた。病院によると、男子生徒は一日午後には熱が三六度台に下がり、回復に向かっている。厚労省は

男子生徒と接触した人に対する疫学調査を実施する予定だったが、見送りを決めた。簡易検査で新型インフルエンザと同じA型ウイルスの陽性反応が出た後、第二段階の遺伝子検査で新型感染が否定されたのは、明らかに成田だけで四月三十日に成田

学校や病院安ど

校長、涙ぬぐい「よかった」

「ほっとした」。新型インフルエンザの感染が疑われた横浜市の男子高校生に「シロ判定」が出た一日午後、生徒が通う高校や入院している病院には安堵(あんど)の声が広がった。「(生徒が感染の疑いがあると診断されて以来)食べ物ものどを通らなかつた。本当に良かった」。高校の校長が涙をぬぐって喜んだ。一方で

「生徒全員が新型インフルエンザに感染していないと最終確認されるまでは、完全に安心はできない」と表情を引き締めた。入院先の横浜市内の感染症指定病院によると、治療を受けている生徒は一日午後、体温が三六度台に下がり、朝食と昼食も残さずに食べて容体は順調に回復している。